

組織

会長	門脇 伸子	(桧木内小学校)		
副会長	菅原 靖	(太田北小学校)	熊谷 留美子	(神代小学校)
監事	三浦 典子	(大曲小学校)	新目 麻衣子	(角館中学校)
研究部	菅原 久実	(美郷中学校)		
幹事	渡邊 真理子	(協和中学校)	三浦 里子	(大曲小学校)
	佐藤 好一	(仙北中学校)	田中 真二郎	(西仙北中学校)
	菅原 久実	(美郷中学校)		

主な事業

郡市教育研究会総会
決算報告と予算決定、研究テーマ、活動計画、
役員の決定 (資料のみ)

令和2年度大曲仙北造形教育研究会秋季研究会
10月29日 仙北市立生保内小学校
仙北市立生保内中学校

「指導実践事例集」を編集し、会員配付

第52回大曲仙北児童生徒美術展 (中止)
第61回秋田県児童生徒美術展：
地区審査審査 (11月27・30日)

研究会の記録

・日々の研究として

今年度も「思い豊かで楽しくてたまらない造形教育を求めて」の研究テーマの下、「自分で表したいことを見付け、その思いを表現するための構想を練ることができるようにするための手立て」を研究の重点として、次の3つを仮説として挙げ、会員各自が研究を続けている。

- ①子どもたちに提示する題材名やテーマ題、発問を工夫する。
- ②材料や参考作品の提示を工夫する。
- ③学習シートや図工・美術のノートの工夫や活用を積み重ねる。

・関連事業

10月29日に大曲仙北造形教育研究会秋季大会を開催。今年度、当日に児童生徒が登校して研究授業を行うことをせず、各研究団体で研修内容を企画して実施する形となったため、本研究会では、事前に行った小・中の研究授業の様子をビデオで撮影し、当日全員でそれを視聴して協議した。特に「生徒の発想・構想の力を高めるための手立て」について、具体的な実践例とその成果・課題を小中連携の視点を交えて情報交換することができた。午後は、指導主事の高橋聖子先生より「評価」について講話・グループ別に演習を行った。教科書に掲載されている作品を指導要領の解説を見ながら評価することで、新しい評価方法について研修した。また、大会に合わせて会員の実践を「指導実践事例集」として冊子にまとめて配付した。授業研究に役立つ資料集にするべく、今後も回を重ねて編集していきたいものである。

今年度は郡市美術展を中止し、全県美術展出品のための審査を少人数で分散して行った。展覧会は作品を鑑賞して研修する大切な機会であるので、来年度は開催ができるように願う。

